

開設講座名	【選択】読書が育む豊かな人間性 －学校図書館を活かす－	担当講師	安光 裕子		
講習会場	山口県立大学（南キャンパス） C館 C12 教室	会場所在地	山口市桜島 3-2-1		
開設日	平成 30 年 8 月 23 日（木）	時間数	6 時間	受講定員	50 人
募集期間	平成 30 年 5 月 20 日～6 月 3 日	履修認定 時期	平成 30 年 9 月 30 日まで		
履修認定 対象職種	教諭	主な 受講対象者	小・中・高等・特別支援学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	うち受講料 以外の経費	0 円		
<p>【到達目標】</p> <p>①学校教育における学校図書館の意義について理解する。 ②児童・生徒の読書活動およびその環境の実態を把握する。 ③児童・生徒の発達段階に応じた読書指導の方法について理解する。 ④ブックトークやアニメーションなどの読書指導の方法について理解する。 ⑤以上の諸点を踏まえて、学校図書館を活用した授業を行うことができる。</p>					
<p>【講習の概要】</p> <p>子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を培うなど、豊かな人間性を身につける重要な活動である。「63 回 学校読書調査報告」を参考にしつつ、児童・生徒の読書活動の実態および児童・生徒の発達段階に応じた読書の意義などについて概説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育における学校図書館の意義 学校図書館法および新しい学習指導要領における学校図書館の位置づけについて紹介するとともに、学校図書館の三つの機能「学習情報センター的機能」「読書センター的機能」「教材センター的機能」について概説する。 2. 児童・生徒の読書活動およびその環境の実態 「第 63 回 学校読書調査報告」に基づいて、児童・生徒の読書活動およびその環境の実態を概説する。 3. 児童・生徒の発達段階と読書 児童・生徒の発達段階（「小学校期」（低学年・中学年・高学年）、「中学校期」、「高等学校期」）に応じた読書指導の方法について概説する。 4. 読書の手がかりと読書体験のひろがり 読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク、アニメーション、ビブリオバトルなどの具体的な読書指導について解説する。 5. 学校図書館を活用した実践例と総括 スクールライブラリー・ビデオシリーズ「図書館を生かす 学校は変わる」、「豊かな学校づくりのために」を視聴するなど、先進的な学校図書館活用の実践例を紹介する。 6. 筆記試験 					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法：筆記試験の結果による。 合格：「到達目標」に達している。 不合格：上記以外。</p>					
<p>【テキスト・参考資料】</p> <p>テキスト：配付資料により講義を行う。 参考資料：『学校図書館活用教育ハンドブック こうすれば 子どもが育つ 学校が変わる』（国土社、2003 年）、 モンセラット・サルト著・佐藤美智代・青柳啓子訳『読書で遊ぼうアニメーション 本が大好きになる 25 のゲーム』（柏書房、1997 年）、全国学校図書館協議会『学校図書館』805 号（2017 年 11 月号）</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>何はともあれ、まずは、読書三昧の日々を過ごしましょう。</p>					